

平成28年8月23日
一般社団法人全国古民家再生協会
CROSSCOOP 青山9階 会議室
15:00～17:00

2016年度長期滞在型・ロングステイ観光学会 古民家ロングステイ普及促進分科会

発起人挨拶 設立代表発起人 井上幸一

参加者自己紹介

一般社団法人全国古民家再生協会 井上顧問
一般財団法人ロングステイ財団 弓野理事長
常岡常務
一般社団法人静岡県古民家再生協会 富田理事長
ダヴィ・ビハン
一般社団法人古民家再生協会東京 杉本理事長
オブザーバー
一般社団法人住まい教育推進協会 川上

討議

本分科会は3月18日ロングステイ観光学会で設立された分科会で古民家を扱う唯一の分科会としての位置付けであり、来年3月観光学会で論文をまとめる。

ホスピタリティーを中心とした学会が多いのであるが、長期滞在に特化したものはないために期待も高い。欧米では長期休暇が制度化れており、長期滞在が浸透しているが、日本では長期休暇に関するISOの法律を批准しておらず非常に立ち遅れている。また観光業界は週末にしか需要がないために生産性も低い現状がある。

インバウンドの受け入れを喚起し国内と海外の需要をマッチングすることで古民家活用における長期滞在型の研究を進めていきたい。

インバウンド、移住定住、地域再生も古民家がカギとなっている。

古民家を通しての「地方創生」「インバウンド」をこの分科会・学会で経済産業相、国土交通省（観光庁）へ提言ができるものを作りたい。

インバウンド受け入れには集中しているゴールデンルート以外に地域の宿泊施設を発掘しないとイケない。

古民家単体ではなく、集落（里山）で考える視点が必要、ソフトの発掘へ地方自治体とも連携をしていく（日本で最も美しい村連合などと連携）

一局集中でない面で捉える提案としてYouTubeなどで日本の文化を外国人へ紹介していくことを提言していく（ダヴィ氏の事例、英語版・フランス語版必要）

論文は

【起】里山、古民家の良さ（古民家協会から）

【承】再活用のための問題点抽出（各データを集める）

【転】活用のために実施する内容（事例を集める）

【結】古民家を海外に発信する方法（ダヴィ氏の事例活用）

で進めて、国と連携して行えるように提言をしていく。

次回委員会

平成28年10月24日（月）15時から開催（その後懇談会開催）

次回は厚生労働省民泊の担当にも参加頂く